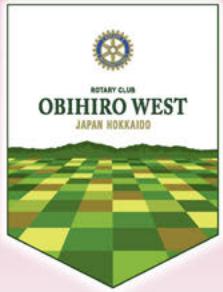




インスピレーションになろう

帯広西ロータリークラブ 会報

第2235回例会
2018.7.19



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

■会長報告

佐藤 聰 会長

皆様こんにちは 第3回目の会長挨拶
となります。



月曜日の深夜に世界中を沸かせたサッカーワールドカップ決勝が行われフランスが栄光を手にしました。優勝を手にしたフランス、準優勝のクロアチア、第3位のベルギーと第4位のイングランド。この4カ国の中で日本よりも国土が広いのは1.5倍面積を持つフランスのみ。準優勝のクロアチアと第3位のベルギーを足してやっと北海道の面積と同じくらい。

人口においてはフランスとイングランドが日本の半分6000万人。準優勝に泣いたクロアチアの人口は440万人で北海道と比べても67%ほどです。

因みにワールドカップの賞金総額は…900億円、優勝（フランス）42億7000万円、準優勝（クロアチア）31億4000万円、3位（ベルギー）27億円、4位（イングランド）24億7000万円、ベスト8は18億円、日本を含むベスト16は13億2000万円、グループステージ敗退でも9億円、その他出場国には大会準備補として2億円、日本の獲得賞金総額は13億5000万円+大会準備費2億円で合計15億5000万円、日本選手個人への報奨金が1000万円×23名で2億3000万円ですから差額の13億2000万円が日本サッカー協会に入ります。

※クラブ・プロテクション・プログラム 238億円が選手の所属チームに別途支払われる。

※WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の賞金総額は15億4000万円、優勝賞金は2億4000万円だった。サッカーは野球の18倍。

冷静になって考えると北海道並みの国土しか持たない国々が独立国家として存在し、更に世界のスポーツシーンを虜にして高額賞金を手にしたことになります。北海道人として覚悟を決めれば何かとつもない事が出来そうな予感がした週初めでした。

ということで今週は「覚悟」という言葉を紹介させて頂きます。

『遠くのゴールが 明確にイメージできると
たとえ 大きな障害があっても
乗り越えようという 覚悟が出来る』

本日の例会は各委員長の就任挨拶です。各委員長の覚悟を楽しみしております。

以上簡単ですが、会長報告とさせて頂きます。

■会務報告

小谷典之 幹事

①帯広北RC、夜間例会開催のご案内

日 時 7月20日（金）午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広



②帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 7月24日（火）午後6時30分

場 所 プレミアホテルCABIN帯広

③帯広南RC、7月30日（月）の例会は、休会と致します。

帯広東RC、7月31日（火）の例会は、休会と致します。

④帯広西RC、移動例会開催のご案内

日 時 8月2日（木）午後0時30分

場 所 アップアイランド

(西25条南3丁目15 TEL37-7711)

※当日は、運動しやすい恰好、運動靴をご持参下さい。

会 長 佐藤 聰
幹 事 小谷 典之副 会 長 内 海 仁 司
副 会 長 渡 部 省 一会 場 監 督 理 事 田 中 耕 吾
程 度 委 員 會 理 事 谷 駿 正 人発 行：広 報 委 員 會
委 員 長 菊 池 俊 博 (副) 松 田 貴 史



伊藤 公康 親睦活動委員長

皆さんこんばんは。親睦活動委員会委員長を仰せつかりました伊藤です。会長方針の中に「新たな発想で挑戦し、地域で一番輝くクラブを目指します」とあります。同好会も盛んで、仲間との親睦を大切にしてきた西クラブが、より一層活気に溢れ、地域で一番輝くクラブ、みんなから羨ましがられるようなクラブになるための一助となれるよう、精一杯、企画、運営をさせていただきます。多くの会員の皆様とご家族の皆様にご参加いただき、ロータリー活動へのますますのご理解を深めていただけるよう、楽しい例会をつくりあげたいと考えております。1年間ご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。



松原 宏樹 健康増進委員長

今年度健康増進委員会の委員長を務めさせて頂きます松原です。今年度のクラブテーマ「常識を疑い、可能性に挑戦する」というところで、あえて医療従事者ではない私を健康増進というポジションに任命して頂いたと感じております。企業のトップの方が多いロータリアンの皆様におかれましては、何かと会合や外食、飲酒等の機会も多いのではと思われます。実際、私自身もロータリーに入会して3年になりますが、今でも思い出すのが入会当初の挨拶で10年間くらい年に4、5回位しか街に出でていないというお話をしたのですが、現在はどうかと言いますと、週に最低2回は出ているような有様です。どのような用件で出ているのかはさておきまして、やはり、外食や飲酒の機会が増えると素人ながらに、自然に体重や体脂肪やコレステロール等の数値も悪化していくと思われます。そのような視点からメンバーの皆様が少しでも長く健康で居られるような知識や習慣を得られるような活動を行なえたらと思います。初めての委員長で、至らないところが多々あるとは思いますが、皆様1年間よろしくお願ひ致します。



太田 豊 会員増強委員長

本年度、会員増強委員会委員長をさせて頂きます太田です。宜しくお願ひ致します。副委員長には佐々木和彦会員。委員には川田会員と松見会員が配属となっており、大変強く思っております。活動計画には新規5名の会員増強目標を立てさせて頂きましたが、承知の通り、本年度佐藤会長、渡辺・内海両副会長より推薦入会頂いた3名と佐々木和彦増強副委員長のお力添えを頂き宮前友恵(みやまえともえ)さんに入会いただき、すでに4名の新会員で、あわせ75名の会員でスタートすることができました。佐藤会長からは人数が多くれば良いというものではなく、本当に西クラブにとって入って頂きたい人を慎重に推薦してくださいとは指示を受けております。私の思いといたしましては、今後のクラブの活性化につなげるためにも、若い会員や女性会員、そして職業分類の特に中分類の空白域の補填にターゲットを絞り残りあと1名とは申しません。時間はありますのであと2~3名頑張ってみたいと思いますので、皆さんの貴重な情報も合わせお知らせ願えればと思います。また、更には、退会者が出ないよう注意をはらい、最近出席率の下っている方や、出席しても笑顔がなくなっているような方がいらっしゃいましたら、推薦者をはじめ皆様からもお声掛け頂きたく思います。



菊地 俊博 広報委員長

皆さんこんばんは!! 1年間広報委員会を担当させて頂きます菊池です。今年入会6年目ですが広報委員会への所属経験がなく不安いっぱいでしたが、経験豊富な先輩のアドバイスや激励のお言葉を頂いた事で、少しずつ『出来るかな』という気になってきました。そして強力な委員会メンバー構成で運営出来るということで、更に『出来るかな』という気持ちが高まりました。変わらず若輩者では御座いますが活動を通じて、また一つ一つ学んでいきたいと思っております。先輩方には「御指導と御協力」を頂きたく思っておりますので宜しくお願ひ致します。委員会は、松田副委員長、奥会員、堂山会員、千葉会員、長平会員、宮前会員の7名で活動していきます。

速やかな会報誌の発行と、『ほっこり笑顔になれる』FBの活用を心がけて参りたいと思っております。帯広西ロータリークラブのFBの現在のメンバー数は会員数の半数程度となっております。FBをされていて、まだメンバーになっていない方は早急にメンバーになって戴き、まだFBをされていない方は挑戦をして頂ければと思います。1年間宜しくお願ひ致します。



古田 敦則 ロータリー情報委員長

ロータリーの先輩でもある佐藤会長の年度に委員長に指名していただき、改めて初心にかえって頑張らなければと思っています。会長のおっしゃる「常識を疑い、チャレンジする」事を念頭に、そうした思いが会員の方々と共にできるよう活動していきたいと思います。1年間よろしくお願ひします。



鎌田 裕樹 ロータリー財団委員長

今年度のロータリー財団委員長を拝命しました。鎌田です。ロータリーに入会させていただいて5年目になりますが、委員長は一昨年の健康増進委員会に次いで2回目となります。先回は私の専門分野でやらせていただいたので、あまり勉強することもなかったのですが、今回はあまり理解していない委員会なので、しっかりと勉強しながらではあります、務めさせていただきます。さて、寄付をする際に一番気になるのが自分の出したお金が何に使われているのか?だと思います。私も大きな災害があった時など、寄付をしておりましたが、そのお金がどのように使われているのかが全く見えてこないため、もどかしい気持ちであります。今回寄付を募る側になったわけですが、それには最低限、その寄付がどのように使われるのか、ロータリー財団の活動がどのように行われ、どのように「世界でよいこと」をしてきたのかを、会員の皆様にお答えできるようにならなければならないと考えております。まずは自らがしっかりと学び、それを皆さんに伝えていくことを今年度の活動とさせていただきます。会員の皆様、一年間どうぞよろしくお願ひいたします。



天野 清一 米山記念奨学委員長

佐藤会長元1年間米山記念奨学委員会担当させて頂きます天野です副委員長には久保且佳会員・委員には佐々木嘉晃会員ととても心強いメンバーで2回のプログラムを担当させて頂きます、1回目は早速8月9日第二例会に米山学友スリランカ出身のダクシカ・ノーニスさんがカミングホームで卓話を頂きます、2回目は米山月間の10月11日第二回例会を担当させて頂きます。日本を平和にするのは米山記念奨学会でって事を担当委員長になってわかった次第で 世界125国から最近は中国人が多い様ですが約2万人の学生が日本のロータリアンにお世話になり勉強されて母国に帰って成功されています。そして日本を好きになって日本人と信頼関係を築き平和を維持出来ると思います。ただ米山記念奨学会は年間事業費13億円とてつもない国際奨学団体で私にはまだ勉強不足ですので13億円のお金をどのように使われているかわかりませんが今年1年を掛けて勉強したいと思います。どうぞ米山記念奨学委員会を宜しくお願ひします。



石原 英樹 長期計画特別委員長

今年1年、直前会長と長期計画特別委員長をさせていただきます。委員会では長期積立金及び青少年育英基金の管理をし、支出の要請がある場合には、萱場副委員長、太田、谷脇会員と検討し理事会に報告を致します。直前会長としては、今年度クラブの運営がスムーズに出来るよう、佐藤会長を応援してまいります。宜しくお願ひいたします。

